



ID: 1301

科目名	建築構造 I 【26年度生用】			コード			
英語表記	Wood Construction or Timber Construction						
担当教員名	多賀 直恒			年度	平成26年度		
基準年次	2年次	開講期	後期	単位数	2		
授業形態	講義	授業形式	面前	履修形態	選択		
授業概要							
日本の伝統的な木造建築を中心に在来軸組構法・ツーバイホー構法・パネル構法など外来構法の特長を解説する。現在の木造住宅の構法・構造・施工・計画の基本的事項の理解と実用的な知識を学ぶ。木造建築の基本事項として敷地の選定、施工の概要、構造の特徴、木材の性質、耐震構造など構造設計の基本を学習する。日本の気候風土にあった地域と自然に合わせた住宅構造とライフスタイルに対応した住まい方を学ぶ。							
到達目標							
(1)日本の伝統的な木造家屋の歴史と地域的特性 (2)木造建築の構造材料的な特性と構法の特徴 (3)耐震構造の基本と維持管理や改修補修の方法							
授業計画							
第1回	木造を学ぶ基本的目標を理解し最初に学習内容の概要を把握する。						
第2回	日本建築の木造伝統構法の概要を学ぶ。						
第3回	木造の種類、構造・構法・部位の種類や概要を、施工工程を学習する。						
第4回	地域風土に育つ木材の性質や構法に適用した材料の特性を理解する。						
第5回	設計に必要な材料の強度の考え方と集成材の特徴を学習する。						
第6回	木造住宅の構造的な全体的仕組について学習する。						
第7回	伝統的な軸組構法の概要を構造・施工・部位・機能について学習する。						
第8回	外来工法の基本的な構成と構法的特徴など工法の概要を学習する。						
第9回	木質やRC・S系などのプレハブ構法の概要を理解する。						
第10回	屋根・壁・床・軸組の構造的な特徴と構法的機能を理解学習する。						
第11回	部材強度及び接合方法に関して基本的な構造設計の方法を学習する。						
第12回	木造の地震や台風に対する被害の実態と対策を理解する。						
第13回	老朽化した既存木造住宅の耐力の診断と維持補修の基本を学ぶ。						
第14回	木造住宅の都市の既存ストックの密集市街地問題を防災的見地から検討理解する。						
第15回	木質構造の講義の全体像の理解度・到達度を復習する。						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
総合評価をする、定期試験、演習課題のレポート・出席状況も加味する。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				30	50		20(質問)
授業外学習			テキスト、教材				
毎週小課題を提出すること			杉山英男編著「木質構造」共立出版 2002年 第3版				
参考書			受講生へのメッセージ				
坂本功「木造建築を見直す」岩波新書 2000年			建築構法(木造の基本、木造の設計と各部構造)を履修して学習修得することが必要である。				
キーワード							
木造住宅・伝統構法・木材の性質・軸組構法・プレハブ構法・耐震診断							